



平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年11月12日

上場会社名 東洋精糖株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2107 URL <http://www.toyosugar.co.jp>
 代表者(役職名)代表取締役社長 (氏名)佐々木 剛
 問合せ先責任者(役職名)取締役管理本部長 (氏名)立澤 一郎 (TEL)03(3668)7871
 四半期報告書提出予定日 平成26年11月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績(平成26年4月1日~平成26年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	7,174	△0.9	297	△26.9	350	△22.3	233	△17.7
26年3月期第2四半期	7,241	△3.0	407	△13.8	451	△10.9	284	△12.9

(注) 包括利益 27年3月期第2四半期 241百万円(△18.0%) 26年3月期第2四半期 294百万円(△8.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	4.29	—
26年3月期第2四半期	5.21	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第2四半期	13,341	7,790	58.4
26年3月期	13,552	7,654	56.5

(参考) 自己資本 27年3月期第2四半期 7,790百万円 26年3月期 7,654百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	2.00	2.00
27年3月期	—	0.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	2.00	2.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日~平成27年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,700	1.5	740	△2.2	820	△1.3	540	4.4	9.90

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 — 社(社名) — 、除外 — 社(社名) —
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期2Q	54,560,000株	26年3月期	54,560,000株
② 期末自己株式数	27年3月期2Q	25,893株	26年3月期	25,378株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期2Q	54,534,260株	26年3月期2Q	54,535,970株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

わが国経済は、政府と日銀の経済金融政策の効果等により、企業業績や雇用環境の改善が見られ、景気は緩やかな回復基調で推移しておりますが、消費税増税に伴う駆け込み需要の反動、夏場の天候不順の影響や円安による原材料エネルギーコストの高止まりなどにより、依然として景気の先行きは不透明な状況が続いております。

このような状況下、当社グループは引き続き安全・安心な商品の提供、製造・販売コストの管理及び資産の効率的運用に努めてまいりました。

その結果、連結売上高は7,174百万円(前年同期比0.9%減)、連結営業利益297百万円(前年同期比26.9%減)、連結経常利益350百万円(前年同期比22.3%減)、連結四半期純利益233百万円(前年同期比17.7%減)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

砂糖事業

消費税増税の影響と夏場の天候不順により販売量は減少し、売上高は6,428百万円(前年同期比1.3%減)となりました。営業利益は、原料の調達コストや製造コストの上昇により、494百万円(前年同期比8.2%減)となりました。

機能素材事業

販売数量は飲料向けの出荷が低調であったものの酵素処理ルチンや化粧品原料が好調に推移したため前年同期をやや上回り、売上高は554百万円(前年同期比3.0%増)となりました。営業利益は製造コストや原料の調達コストなどの上昇に加え、高付加価値品の販売が伸び悩んだことにより、43百万円(前年同期比60.3%減)となりました。

不動産賃貸事業

賃貸資産の一元管理のもと資産の効率的な運用に努め、売上高は191百万円(前年同期比0.2%増)、営業利益は53百万円(前年同期比1.0%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

当第2四半期末の資産合計は、有形固定資産の増加などがあるものの、現金及び預金やたな卸資産の減少などにより、前期末に比べ210百万円減少し13,341百万円となりました。負債合計は、支払手形及び買掛金の減少などにより、前期末に比べ347百万円減少し5,550百万円となりました。純資産合計は、四半期純利益による利益剰余金の増加などにより、前期末に比べ136百万円増加し7,790百万円となりました。この結果、自己資本比率は前期末の56.5%から58.4%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年3月期の連結業績予想につきましては、平成26年5月8日付「平成26年3月期決算短信〔日本基準〕(連結)」にて公表いたしました連結業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、割引率の決定方法を残存勤務期間に基づく単一割引率から支払見込期間ごとに設定した複数割引率へ変更いたしました。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第2四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る負債が5百万円減少し、利益剰余金が3百万円増加しております。また、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	465	244
受取手形及び売掛金	1,366	1,381
商品及び製品	938	1,033
仕掛品	193	127
原材料及び貯蔵品	1,109	938
その他	1,087	1,111
貸倒引当金	△32	△12
流動資産合計	5,129	4,823
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,442	2,390
機械装置及び運搬具(純額)	140	265
土地	2,867	2,852
その他(純額)	127	124
有形固定資産合計	5,578	5,632
無形固定資産		
	56	55
投資その他の資産		
投資有価証券	613	621
長期貸付金	1,981	2,011
その他	198	202
貸倒引当金	△6	△6
投資その他の資産合計	2,787	2,829
固定資産合計	8,422	8,517
資産合計	13,552	13,341

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,165	943
短期借入金	2,735	2,835
未払法人税等	169	112
賞与引当金	70	71
その他	490	633
流動負債合計	4,630	4,595
固定負債		
長期借入金	774	467
役員退職慰労引当金	87	95
退職給付に係る負債	327	311
資産除去債務	16	16
その他	61	63
固定負債合計	1,267	955
負債合計	5,898	5,550
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,904	2,904
利益剰余金	4,743	4,871
自己株式	△3	△3
株主資本合計	7,644	7,772
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	31	25
繰延ヘッジ損益	0	-
退職給付に係る調整累計額	△21	△7
その他の包括利益累計額合計	10	17
純資産合計	7,654	7,790
負債純資産合計	13,552	13,341

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	7,241	7,174
売上原価	5,700	5,743
売上総利益	1,541	1,431
販売費及び一般管理費		
販売費	524	516
一般管理費	609	616
販売費及び一般管理費合計	1,133	1,133
営業利益	407	297
営業外収益		
受取利息	20	19
受取配当金	5	5
持分法による投資利益	15	16
貸倒引当金戻入額	9	19
その他	5	2
営業外収益合計	57	63
営業外費用		
支払利息	12	9
その他	1	1
営業外費用合計	13	10
経常利益	451	350
特別損失		
固定資産売却損	-	7
特別損失合計	-	7
税金等調整前四半期純利益	451	342
法人税、住民税及び事業税	169	107
法人税等調整額	△2	0
法人税等合計	166	108
少数株主損益調整前四半期純利益	284	233
四半期純利益	284	233

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	284	233
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	11	△6
繰延ヘッジ損益	△1	△0
退職給付に係る調整額	-	13
その他の包括利益合計	10	7
四半期包括利益	294	241
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	294	241

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	451	342
減価償却費	79	81
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△9	△19
賞与引当金の増減額(△は減少)	2	0
退職給付引当金の増減額(△は減少)	15	-
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	-	11
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	2	7
受取利息及び受取配当金	△26	△25
支払利息	12	9
持分法による投資損益(△は益)	△15	△16
有形固定資産売却損益(△は益)	-	7
売上債権の増減額(△は増加)	229	△14
たな卸資産の増減額(△は増加)	△208	142
仕入債務の増減額(△は減少)	△127	△221
未払金の増減額(△は減少)	8	34
その他	△28	40
小計	384	382
利息及び配当金の受取額	27	25
利息の支払額	△12	△9
法人税等の支払額	△199	△164
営業活動によるキャッシュ・フロー	200	234
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の償還による収入	10	-
投資有価証券の取得による支出	△12	△1
有形固定資産の取得による支出	△16	△103
有形固定資産の売却による収入	-	21
無形固定資産の取得による支出	△39	△10
貸付けによる支出	△510	△530
貸付金の回収による収入	469	490
その他	△3	△5
投資活動によるキャッシュ・フロー	△102	△139
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	240	△30
長期借入金の返済による支出	△215	△177
自己株式の取得による支出	-	△0
配当金の支払額	△107	△108
リース債務の返済による支出	△2	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	△85	△315
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	11	△221
現金及び現金同等物の期首残高	399	465
現金及び現金同等物の四半期末残高	411	244

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	砂糖事業	機能 素材事業	不動産 賃貸事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	6,512	538	191	7,241	—	7,241
セグメント間の内部売上高 又は振替高	0	—	5	5	△5	—
計	6,512	538	197	7,247	△5	7,241
セグメント利益	538	109	54	702	△294	407

(注) 1. セグメント利益の調整額は、主として各報告セグメントに配分していない全社費用(一般管理費)であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	砂糖事業	機能 素材事業	不動産 賃貸事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	6,428	554	191	7,174	—	7,174
セグメント間の内部売上高 又は振替高	0	—	5	5	△5	—
計	6,428	554	197	7,179	△5	7,174
セグメント利益	494	43	53	591	△293	297

(注) 1. セグメント利益の調整額は、主として各報告セグメントに配分していない全社費用(一般管理費)であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。